

2022年度第5回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 蛍池特別

蛍池（ほたるがいけ）は、大阪府豊中市にある地名。明治43年、箕面有馬電気鉄道（現阪急電鉄）が新駅を開業する際、駅の東側にあった「蛍ヶ池」を採用したことに由来する。蛍池駅は阪急宝塚本線と大阪モノレール線が接続しており、近隣の大阪国際空港へのアクセスルートを構成している。

○ 安芸ステークス

安芸（あき）は、山陽道にあった旧国名のひとつで、現在の広島県西半分にあたる。古くは「阿岐」と書いた。日本三景のひとつである「安芸の宮島」が有名。

○ KBS京都賞ファンタジーステークス（GⅢ）

本競走は、平成8年に創設された2歳牝馬限定の重賞競走。芝1400m、馬齢重量戦で実施され、『阪神ジュベナイルフィリーズ』の関西地区における前哨戦として定着している。令和3年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、阪神競馬場において実施される。

ファンタジー（Fantasy）は、「幻想」を意味する英語。また、文学で夢想的な物語全般を指す。

KBS京都は、京都市に本社を置く京都放送の呼称。ラジオは昭和26年、テレビは44年の開局。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ もちの木賞

もちの木は、モチノキ科の常緑小高木。宮城県、山形県以南琉球列島までと、朝鮮半島南部および中国舟山列島の暖帯に分布し、海岸や山野に多く見られる。

○ 道頓堀ステークス

道頓堀（どうとんぼり）は、大阪市中央区にある、劇場や飲食店などが立ち並ぶ関西地区を代表する歓楽街。名は、元和元年（1615）に完成した運河の開削に尽力した、安井道頓に由来する。

なお、同地にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ道頓堀がある。

○ みやこステークス（GⅢ）

本競走は、京都競馬場のダート 1800m で実施されていた『トパーズステークス』を平成 22 年にオープン特別競走から格上げし、競走名を変更して創設された重賞競走。なお、第 1 着馬には同年のチャンピオンズカップへの優先出走権が与えられる。令和 3 年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、阪神競馬場において実施される。

みやこ（都）は、その国の中央政府の所在地。日本では長く京都がその地であったため、京都を指すことが多い。

<第 3 日>

○ 京都ジャンプステークス（J・GⅢ）

本競走は、平成 11 年に創設された障害重賞競走。通常京都競馬場の芝 3170m の別定重量戦で実施されているが、令和 3 年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、阪神競馬場において 3140m で実施される。

○ 岸和田ステークス

岸和田（きしわだ）は、大阪府にある市。岸和田城の城下町として栄えた。岸和田城は、本丸と二の丸を重ねた形が機（はた）のたて糸を巻く「ちきり」に似ていることから、別名「千亀利（ちきり）城」と呼ばれる。また、江戸中期にはじまり、およそ 300 年の歴史がある岸和田だんじり祭が有名。

○ 堺ステークス

堺（さかい）は、大阪府南部にある政令指定都市。摂津・河内・和泉の 3 国の境に位置していたことから「さかい」と呼ばれるようになった。令和元年に羽曳野市・藤井寺市に跨る「古市古墳群」と共に世界文化遺産に登録された「百舌鳥（もず）古墳群」など古代の史跡や、千利休、与謝野晶子といった文化人の出身地としても有名。

○ デイリー杯 2 歳ステークス（GⅡ）

本競走は、昭和 41 年に創設された重賞競走。創設時は 1600m だったが、翌年から 1400 m（49 年～52 年は 1200m）に短縮され、平成 9 年から再び 1600m となった。令和 3 年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、阪神競馬場において実施される。

デイリースポーツは、神戸新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第4日>

○ 黄菊賞

黄菊（きぎく）は、黄色い花をつけるキクの総称。キクは日本の国花であり、観賞用、切り花用など、その種類は非常に多い。花言葉は「高貴」「高潔」。

○ 室町ステークス

室町（むろまち）は、平安京の室町小路に由来する地名。京都市中央部の室町通は、北は北山通から南は久世橋通までを指す。三条通との交差点付近は交通の便がよく、西陣にも近いことから繊維問屋が集中している。今出川通の北側には、「花の御所」と呼ばれた室町幕府が置かれた。

○ ジャパン・オータムインターナショナル エリザベス女王杯（G I）

本競走は、昭和45年に3歳牝馬三冠の最終戦として創設された『ビクトリアカップ』を前身とする重賞競走。50年にエリザベス女王が来日したことを記念して、翌年に現在の競走名に改称された。当初は『ビクトリアカップ』を踏襲し、京都競馬場の芝2400m、負担重量は定量、3歳牝馬限定の混合競走で実施されていた。その後、古馬牝馬の競走体系改善に伴い、平成8年に競走条件が3歳以上の牝馬に変更され、牝馬No.1決定戦としての意味合いを持つようになるとともに、距離も2200mへ短縮された。令和3年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、阪神競馬場において実施される。

また、平成20年に創設された秋季国際G I競走シリーズ「ジャパン・オータムインターナショナル」にも指定されている。

○ ドンカスターカップ

本競走は、ドンカスター競馬場と京都競馬場が姉妹競馬場となったことを記念して、平成元年に創設された競走。1595年から競馬が行われていたとされる同競馬場では、最古のクラシックレースであり、イギリスの三冠競走の一つである『セントレジャーステークス』が実施される。

ドンカスター（Doncaster）は、イギリスのイングランド中北部、サウス・ヨークシャー州の都市。ドーン川下流域に位置し、古くは織物や炭鉱の町として栄えていた。

<第5日>

○ 出石特別

出石（いずし）は、兵庫県豊岡市の地名。江戸時代から残る城下町の街並みは「但馬の小京都」と呼ばれ、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。白磁の出石焼やその小皿に盛られた出石皿そばが名産。

○ 尼崎ステーキス

尼崎（あまがさき）は、兵庫県南東部にある市。古くから海上交通の要衝として栄え、源義経が船出した大物浦跡がある。漁民・海民が住む海に突き出た土地が地名の由来。明治6年（1873）の廃城令で取り残された尼崎城の天守が平成30年に再建され、31年から一般公開されている。

○ アンドロメダステーキス（L）

アンドロメダ（Andromeda）は、ペガサス座の北東にある晩秋の代表的な星座。トレミーの48星座のひとつ。名は、ギリシア神話に登場するエチオピア王ケフェウスと王妃カシオペアの娘アンドロメダに由来する。

<第6日>

○ 秋明菊賞

秋明菊（しゅうめいぎく）は、アネモネ属キンポウゲ科の植物の一種。名は、秋頃、菊に似た花を咲かせることに由来する。別名は貴船菊。京都の貴船地方に多く見られ、古くから観賞用として栽培されている。花言葉は「忍耐」「薄れゆく愛」。

○ 再度山特別

再度山（ふたたびさん）は、六甲山地西部、神戸市中央区と北区の境に位置する山。名は、弘法大師が唐に仏教を学びに渡る際、航海の安全と学問の成就を祈ってこの山に登り、無事帰国できたことに感謝するため、再びこの山に登ったという故事に由来する。また、頂上付近に整備されている再度公園は、ツツジや紅葉の名所として知られる。

○ ジャパン・オータムインターナショナル マイルチャンピオンシップ（G I）

本競走は、昭和59年に創設された重賞競走。日本における競走体系は長らく長距離路線が重視されていたが、近代競馬においてスタミナとともにスピードも重視されるようになり、短距離路線についても整備が図られた。文字通りマイラーのチャンピオンを決める一戦として、『安田記念』と並び大きな目標となっている。令和3年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、阪神競馬場において実施される。

また、平成20年に創設された秋季国際G I競走シリーズ「ジャパン・オータムインターナショナル」にも指定されている。

○ 姫路ステークス

姫路（ひめじ）は、兵庫県南西部にある市。播磨平野の中央に位置し、播磨灘に臨む。古くから山陽道と山陰道を結ぶ陸海交通の要地として栄えた。市内にある国宝姫路城は、シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」の愛称で親しまれており、平成5年に法隆寺とともに日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録された。

なお、同市には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ姫路がある。

<第7日>

○ 江坂特別

江坂（えさか）は、大阪府吹田市南西部の地名。かつては「榎坂」と表記されていた。近年は商工業地区としても発展しており、北には千里ニュータウンや万博記念公園がある。

○ 茨木ステークス

茨木（いばらき）は、大阪府北部の市。古くから京都と西国をつなぐ交通の要衝を担い、江戸時代には郡山宿が参勤交代等で利用された。現在では、大阪市と京都市の中間に位置することからベッドタウンとして発展している。

○ ラジオ N I K K E I 杯京都2歳ステークス（GⅢ）

本競走は、平成26年にオープン特別から格上げされた重賞競走。昭和34年から続く伝統ある競走で、平成元年まで1400～1600mで実施されていた。その後、2年に1800mに、14年には2000mに距離が延伸され、2歳馬の距離適性を測る競走となっている。令和3年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、阪神競馬場において実施される。

ラジオ NIKKEI は、日経ラジオ社が運営する短波放送局の愛称。前身となる日本短波放送時から中央競馬実況中継をはじめとする様々な競馬番組を提供している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第8日>

○ 白菊賞

白菊（しらぎく）は、白い花をつけるキクの総称。キクは、キク科キク属の植物で、野山に自生する野生ギクと、栽培ギクに大別される。また、栽培ギクには観賞用と食用がある。花言葉は「誠実」「真実」。

○ 立雲峡ステークス

立雲峡（りつうんきょう）は、朝来山の中腹に位置する峡谷。春には樹齢300年を超える老桜を筆頭に山桜やソメイヨシノが咲き誇り、山陰随一の桜の名所として但馬吉野と呼ばれている。立雲峡のある朝来郡山県立自然公園の展望台からは、「天空の城」と称される竹田城跡を望むことができる。

○ カノープステークス

カノープス（Canopus）は、りゅうこつ座のアルファ星。おおいぬ座のシリウスに次いで、全天で2番目に明るく見える星である。南中高度（一番高く上がった時の地平線との角度）が低く、北日本では地平線より上に昇らないため確認することができないが、東日本より南の地域では、南の空の地平線近くで赤く見える。中国では「南極老人星」と呼ばれ、この星を見ると寿命が延びるといふ言い伝えがある。

○ 京阪杯（GⅢ）

本競走は、昭和31年に創設された『京都特別』を前身とする重賞競走。当初は2200mのハンデキャップ戦として実施されていた。36年に現在の競走名に改称され、その後、幾度かの変遷を経て、平成18年から3歳以上、芝1200mの別定重量戦で実施されている。令和3年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、阪神競馬場において実施される。

京阪ホールディングスは、大阪市に本社を置く株式会社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。